

はじめに

数年前に愛犬と散歩中に突然脳梗塞になりました。MRIの画像を見ると、右脳に梗塞の影があり左半身不随となりました。

入院当日の夜、集中治療室で幽体離脱を体験しました。それまで、スピリチュアルは本でしか読んでいたことが無く、自分の身体で体感できるとは思っていませんでした。

しかし、この不思議な体験が、その後の私のリハビリに大きな影響を与えることになりました。

スピリチュアルを理解することにより、肉体（ボディ）の回復（リハビリ）にどう役立ててきたか？

この本を読まれている方の中には、なんらかの事情で病室のベッドで読まれている方やそのご

家族の方もいらつしやると思います。

日々、リハビリに取り組まれている方や、リハビリに携わっていらつしやる方もいます。どうやって、一年半をかけて私が回復し続けたか？

そして、その後さらにスピリチュアルに目覚め、サイキックリーディングをスタートするようになったのか？

その経験の一部を紹介したいと思います。

また、実際に脳梗塞を発症された方の中には、脳梗塞を再発するんじゃないか？ という不安にさいなまれている方もたくさんいらつしやいます。

本書を執筆中に歌手の西城秀樹さんが二度の脳梗塞を発症され壮絶なりハビリ活動を経てステージ活動に復活されましたが、旅立たれました……。ご冥福をお祈りいたします。

現在、私はサイキックリーダーとして、クライアントさんの魂（スピリチュアル）にアクセスしてクライアントさん本人の魂からのメッセージをリーディングしています。

クライアントさんの中には、実際に脳梗塞になられた方がいらっしゃいます。そういった方と対面していて、やはり、私の体験と気づきは、世の中のいろいろな人の役に立つと思えば本書を執筆することとなりました。

執筆にあたり、私をサイキックリーディングの道に導いてくださった、磯一明さん、実際にTRプログラムでリーディングを指導いただいたアリソン、そして、共にサイキックリーディングを学ぶ同期の皆さん、私をスピリチュアルの道に最初にお誘いいただいたFacebookのスピ女の皆さん（特に清美さん、玲さん、エミコさん、カズミさん）には本当にお世話になったこと感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

皆様には、私のこれからの活動でご恩返しができばと思っています。

※ご注意

本書の中で記述している内容は著者の個人的体験です。全ての人が全く同じような体験をするとはありません。著者のスピリチュアル的体験や直観力、インスピレーションは個人的信条や解釈に基づくものです。

著者は医師ではありませんので、医学的アドバイスはいたしません。もしも、なんらかの身体の不調を感じたなら、医師の診断を受け原因を特定することをお勧めします。